

証券コード：5411



**JFE**

# JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2019年2月1日

JFEホールディングス株式会社



# 目次

1. JFEグループ2018年度第3四半期決算  
および 2018年度業績見通し
2. 配当について
3. IFRSの任意適用について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



# 今回のポイント

## □ 2018年度業績（連結経常利益）見通しについて

主として鉄鋼事業における高炉操業トラブル等による粗鋼生産減（前回公表比 ▲ 100万トン）の影響により、2,200億円（前回公表比 ▲ 300億円）となる見通し。

## □ 期末配当について

1株当たり50円（年間95円）とする方針（前回据え置き）。

## □ 国際財務報告基準（IFRS）の任意適用について

2019年3月期末決算より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用。

JFEグループ  
2018年度 第3四半期決算



JFE

## 2018年度 第3四半期決算

JFEホールディングス

(億円)

	2017年度 第3四半期累計	2018年度 第3四半期累計	増減
売上高	26,708	29,391	+ 2,683
営業利益	1,723	1,708	▲ 15
営業外損益	▲ 18	304	+ 322
経常利益	1,704	2,012	+ 308
特別損益	221	▲ 57	▲ 278
税前利益	1,926	1,954	+ 28
税・非支配株主損益	▲ 539	▲ 443	+ 96
親会社株主帰属 当期純利益	1,386	1,510	+ 124



JFE

## 2018年度 第3四半期決算

セグメント別売上高/経常利益

JFEホールディングス

(億円)

	2017年度 第3四半期累計	2018年度 第3四半期累計	増減
鉄鋼事業	19,919	21,262	+1,343
エンジニアリング事業	2,566	3,179	+613
商社事業	14,105	15,586	+1,481
調整額	▲9,882	▲10,636	▲754
売上高	26,708	29,391	+2,683
鉄鋼事業	1,502	1,570	+68
エンジニアリング事業	60	118	+58
商社事業	260	284	+24
調整額	▲119	38	+157
経常利益	1,704	2,012	+308

JFEグループ  
2018年度 連結業績見通し



# 2018年度 業績見通し

JFE

JFEホールディングス

対 前回(10/30公表)

(億円)

	2018年度 見通し (前回) 年間	2018年度見通し (今回)			増減 年間
		4-12月	1-3月	年間	
売上高	40,000	29,391	9,609	39,000	▲1,000
営業利益	2,200	1,708	192	1,900	▲300
営業外損益	300	304	▲3	300	±0
経常利益	2,500	2,012	188	2,200	▲300
特別損益	—	▲57	▲43	▲100	▲100
税前利益	2,500	1,954	146	2,100	▲400
税・非支配株主損益	▲750	▲443	▲57	▲500	+250
親会社株主帰属 当期純利益	1,750	1,510	91	1,600	▲150



## 2018年度 業績見通し セグメント別売上高/経常利益

JFE

対 前回(10/30公表)

(億円)

	2018年 度見通し (前回)	2018年度見通し (今回)			増減  年間
		年間	4-12月	1-3月	
鉄鋼事業	28,800	21,262	7,038	28,300	▲500
エンジニアリング事業	4,800	3,179	1,621	4,800	±0
商社事業	21,200	15,586	4,914	20,500	▲700
調整額	▲14,800	▲10,636	▲3,964	▲14,600	+200
<b>売上高</b>	<b>40,000</b>	<b>29,391</b>	<b>9,609</b>	<b>39,000</b>	<b>▲1,000</b>
鉄鋼事業	1,900	1,570	30	1,600	▲300
エンジニアリング事業	220	118	102	220	±0
商社事業	350	284	66	350	±0
調整額	30	38	▲7	30	±0
<b>経常利益</b>	<b>2,500</b>	<b>2,012</b>	<b>188</b>	<b>2,200</b>	<b>▲300</b>



# 2018年度 業績見通し

JFE

JFEホールディングス

対前年度					(億円)
	2017年度 実績 年間	2018年度見通し			増減 年間
		4-12月	1-3月	年間	
売上高	36,786	29,391	9,609	39,000	+2,214
営業利益	2,466	1,708	192	1,900	▲566
営業外損益	▲303	304	▲3	300	+603
経常利益	2,163	2,012	188	2,200	+37
特別損益	▲29	▲57	▲43	▲100	▲71
税前利益	2,133	1,954	146	2,100	▲33
税・非支配株主損益	▲687	▲443	▲57	▲500	+187
親会社株主帰属 当期純利益	1,446	1,510	91	1,600	+154



## 2018年度 業績見通し セグメント別売上高/経常利益

JFE

		対前年度					(億円)
		2017年度 実績	2018年度見通し			増減	
		年間	4-12月	1-3月	年間	年間	
売上高	鉄鋼事業	27,154	21,262	7,038	28,300	+1,146	
	エンジニアリング事業	3,913	3,179	1,621	4,800	+887	
	商社事業	19,079	15,586	4,914	20,500	+1,421	
	調整額	▲13,361	▲10,636	▲3,964	▲14,600	▲1,239	
<b>売上高</b>		<b>36,786</b>	<b>29,391</b>	<b>9,609</b>	<b>39,000</b>	<b>+2,214</b>	
経常利益	鉄鋼事業	1,988	1,570	30	1,600	▲388	
	エンジニアリング事業	193	118	102	220	+27	
	商社事業	330	284	66	350	+20	
	調整額	▲349	38	▲7	30	+379	
<b>経常利益</b>		<b>2,163</b>	<b>2,012</b>	<b>188</b>	<b>2,200</b>	<b>+37</b>	

JFEスチール  
2018年度 第3四半期決算



# 生産・出荷状況

JFE

	単位	2017年度					2018年度		
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月
単独粗鋼生産量	万t	712	698	723	714	2,846	710	694	639
連結粗鋼生産量	万t	753	738	763	752	3,006	751	733	679
単独鋼材出荷量	万t	614	628	638	650	2,530	613	593	624
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	42.1	44.2	45.1	45.9	44.4	42.4	44.2	43.5
鋼材平均価格	千円/t	74.4	73.3	77.0	76.5	75.3	79.3	81.9	82.9
為替レート	円/ドル	111.5	110.9	112.6	109.7	111.2	108.1	110.9	113.4
期末為替レート	円/ドル	112.0	112.7	113.0	106.2	106.2	110.5	113.6	111.0



# JFEスチール 2018年度 業績見通し



## □国内環境

- 国内鋼材需要は総じて堅調に推移するも、貿易摩擦の影響をはじめとした外需の減速リスクに注視が必要。
- 分野別には、建設部門は首都圏再開発や民間設備投資等に伴う非住宅向け、製造業部門は自動車、産業機械等を中心に堅調な需要を見込む。

## □海外環境

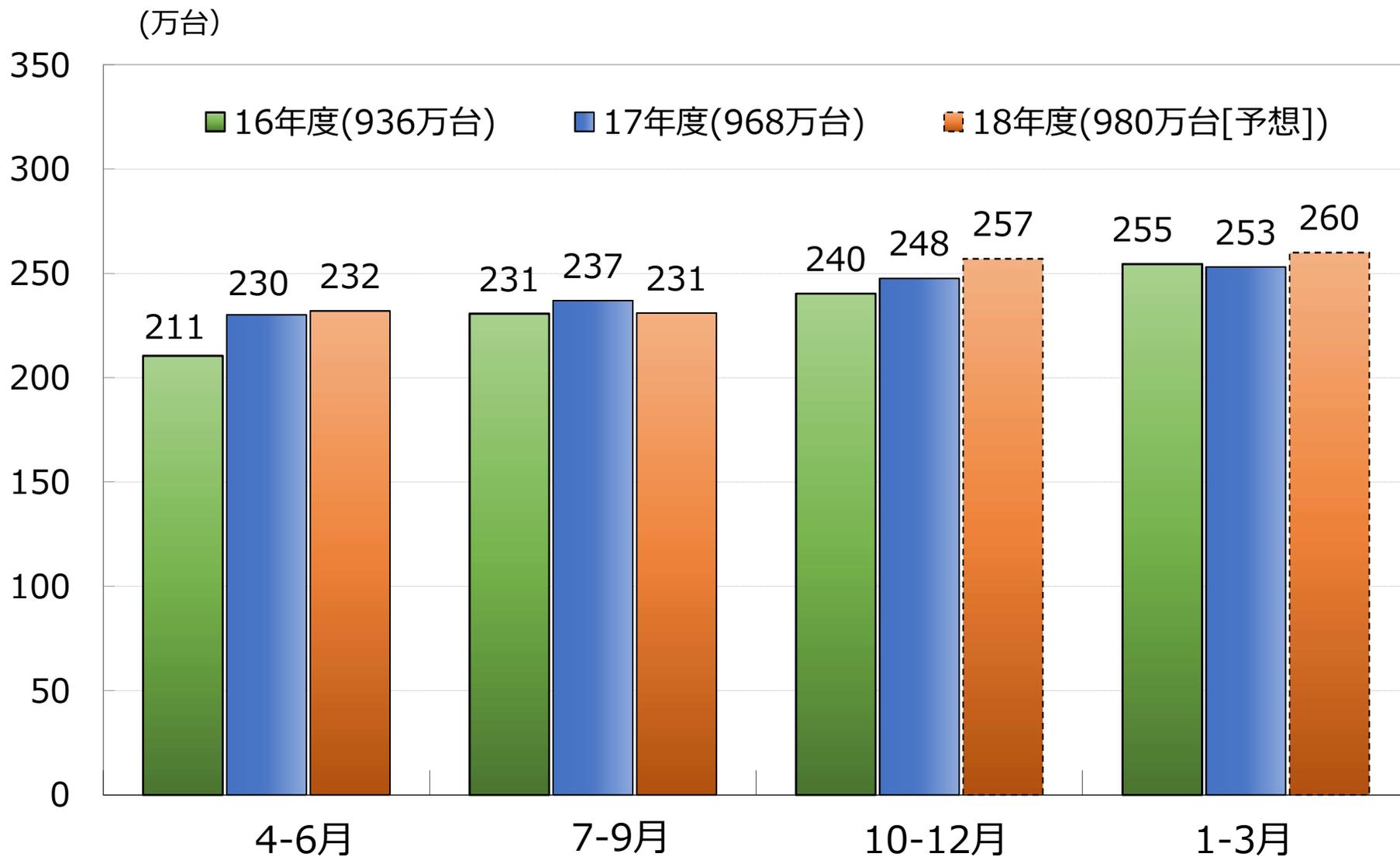
- 貿易摩擦等を背景とした中国経済の減速懸念はあるも、ASEAN・インドは堅調に推移しており、海外鋼材需要は安定的に推移する見通し。
- 中国鋼材市況・メタルスプレッドは足下底打ちし反転の兆し。旧正月明け以降の動向を注視していく。



# 国内販売環境

# 自動車生産台数見通し

JFE

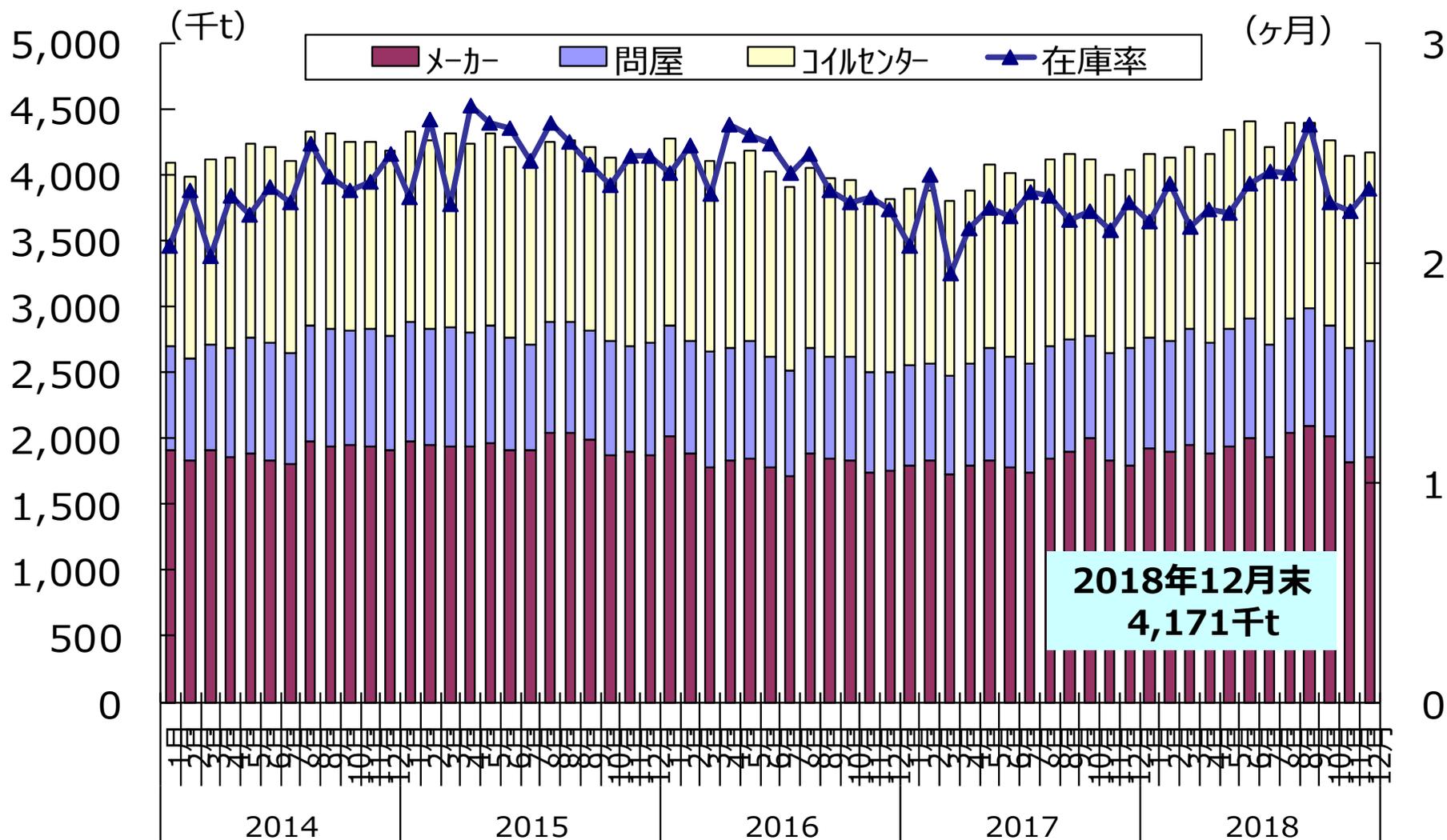




# 国内販売環境

# 薄板 3 品在庫

JFE

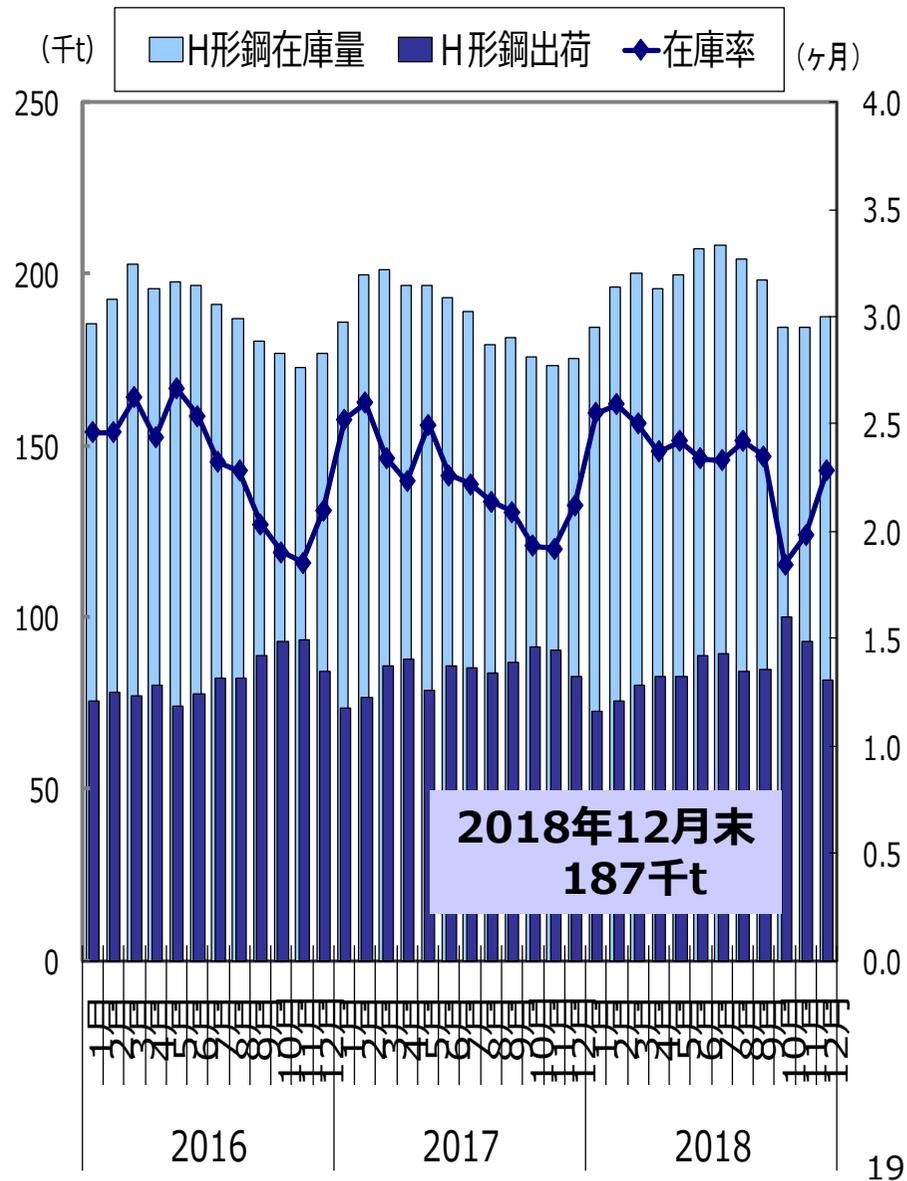
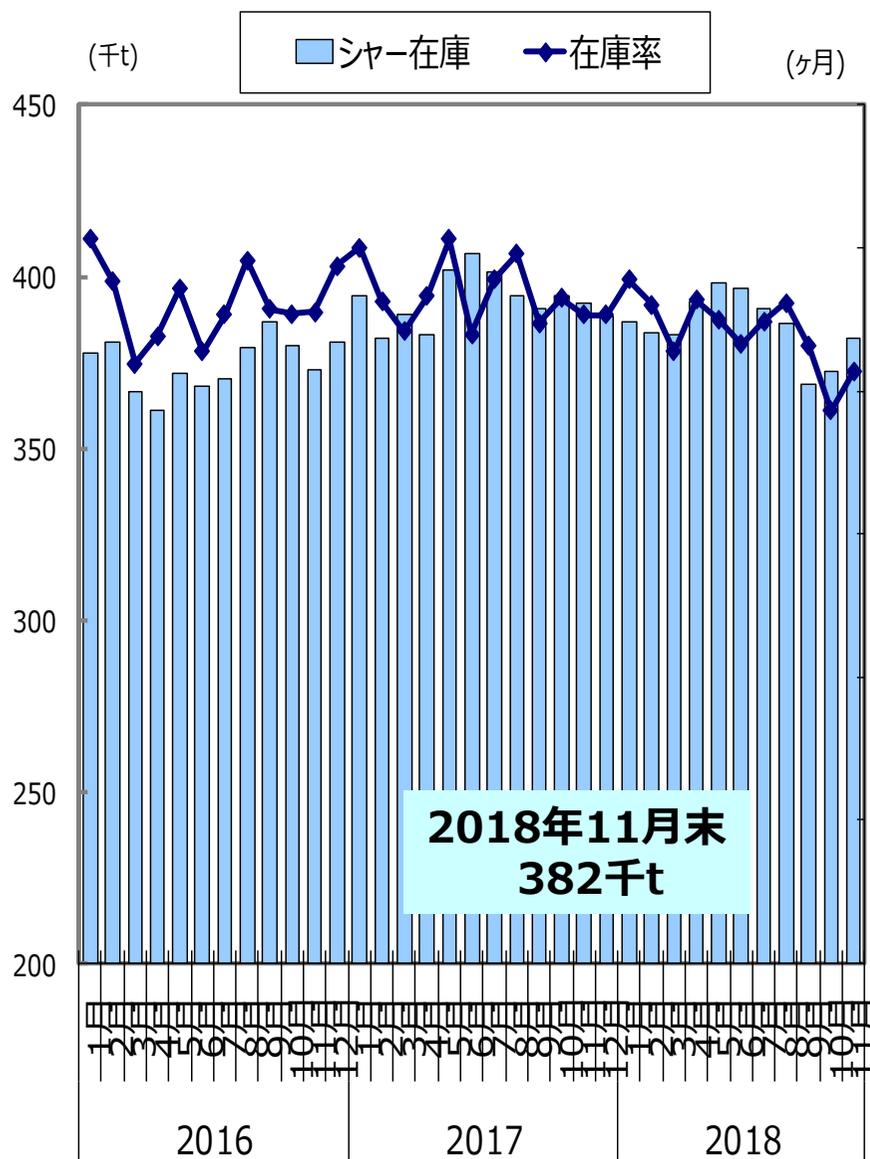




# 国内販売環境

# 厚板シャー・H形鋼在庫

JFE

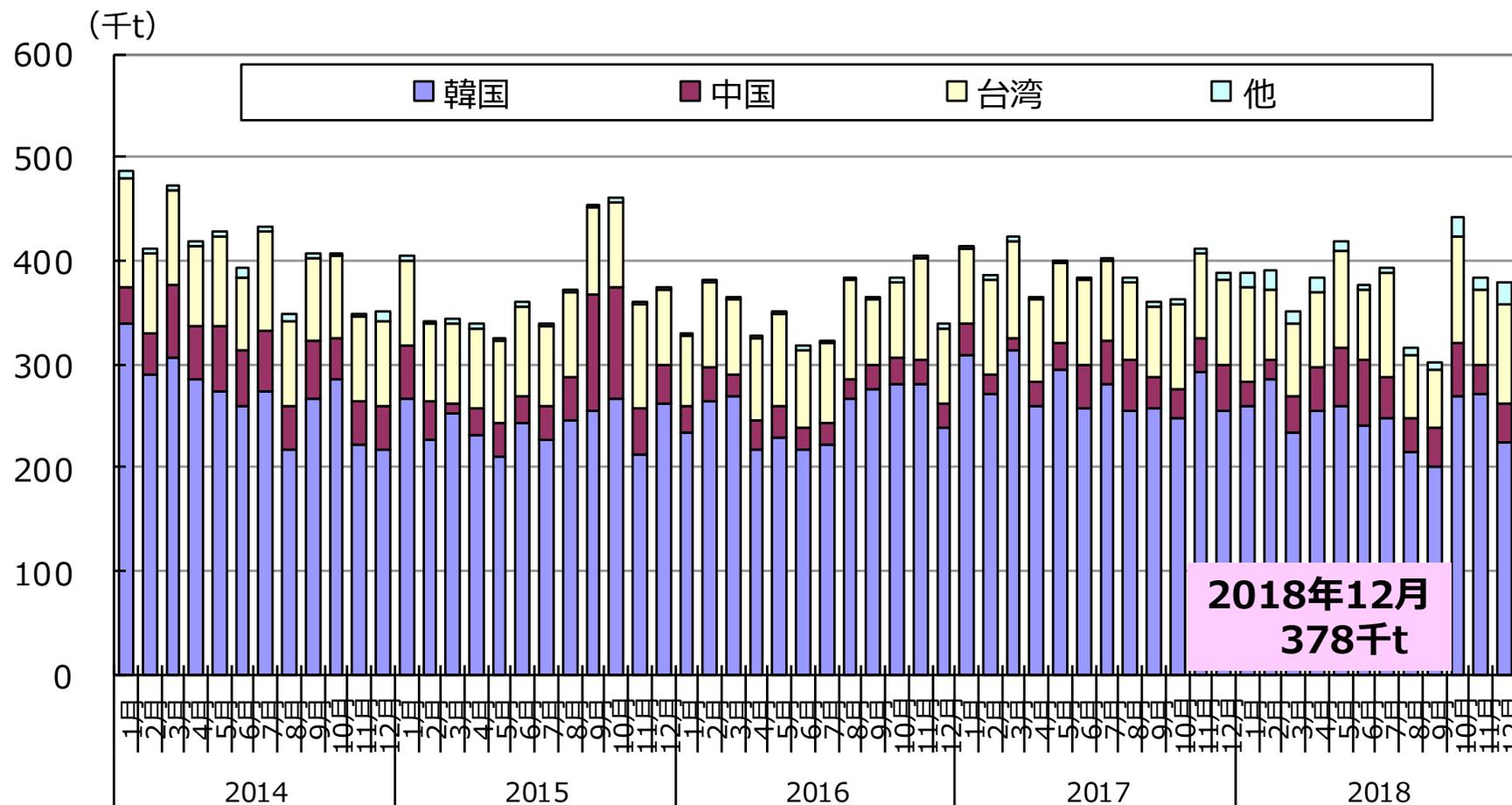


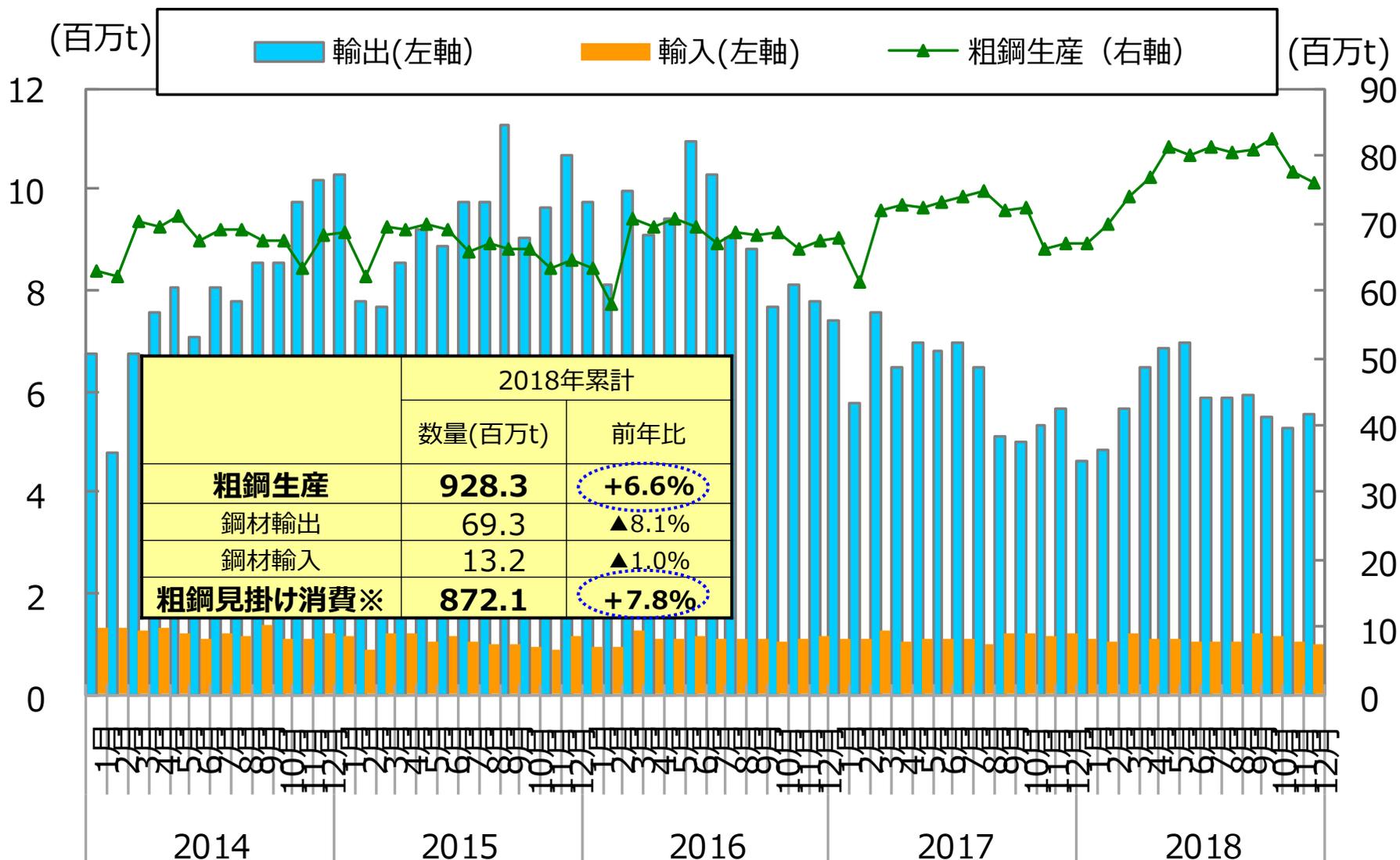


# 国内販売環境

## 輸入鋼材（普通鋼/国別）

JFE





※粗鋼見掛け消費：粗鋼生産-鋼材輸出+鋼材輸入で算出

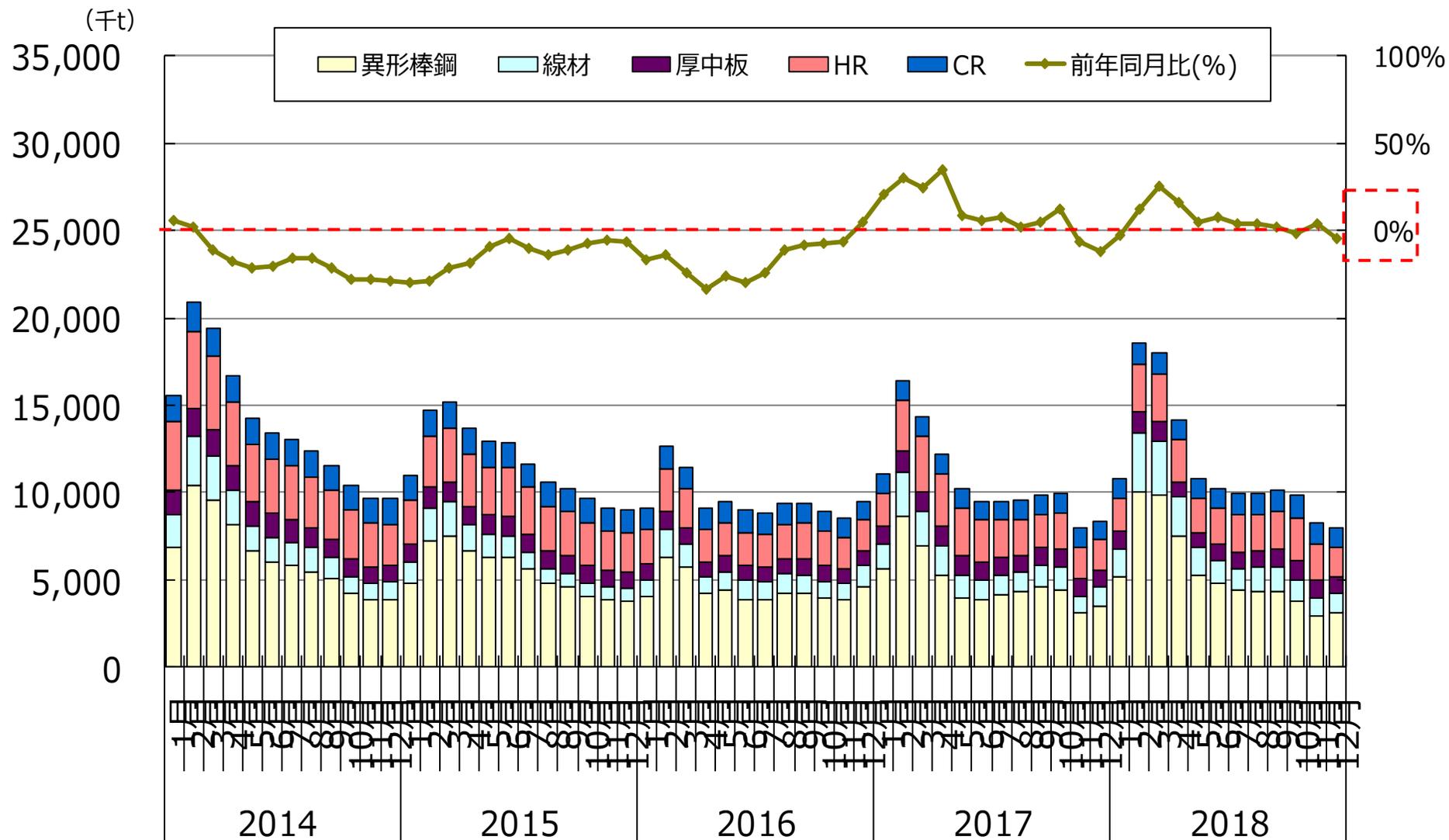


JFE

# 海外販売環境

## 中国品種別在庫数量

JFEスチール



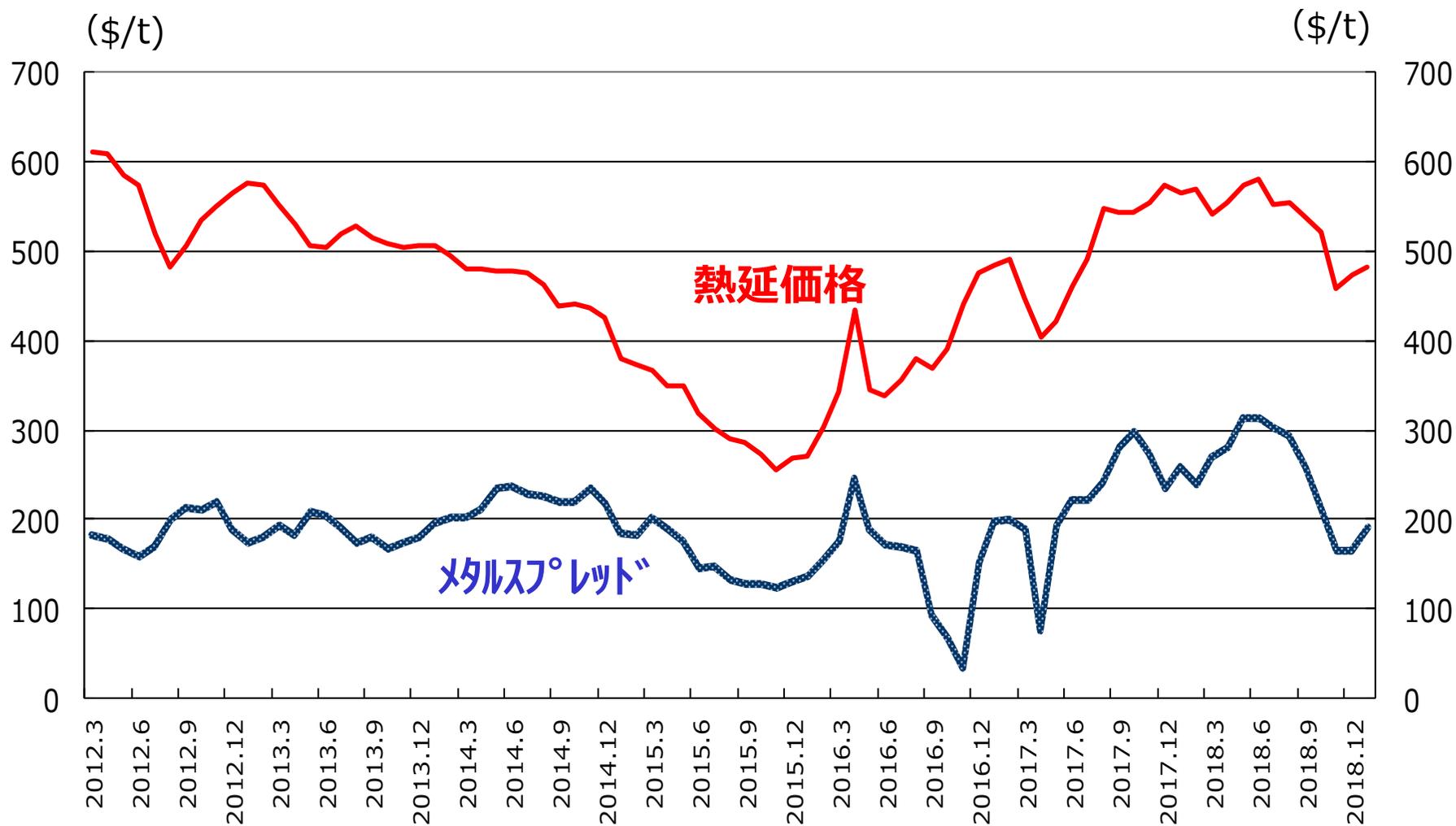


JFE

# 海外販売環境

## (中国スポットベース) メタルスプレッド

JFEスチール

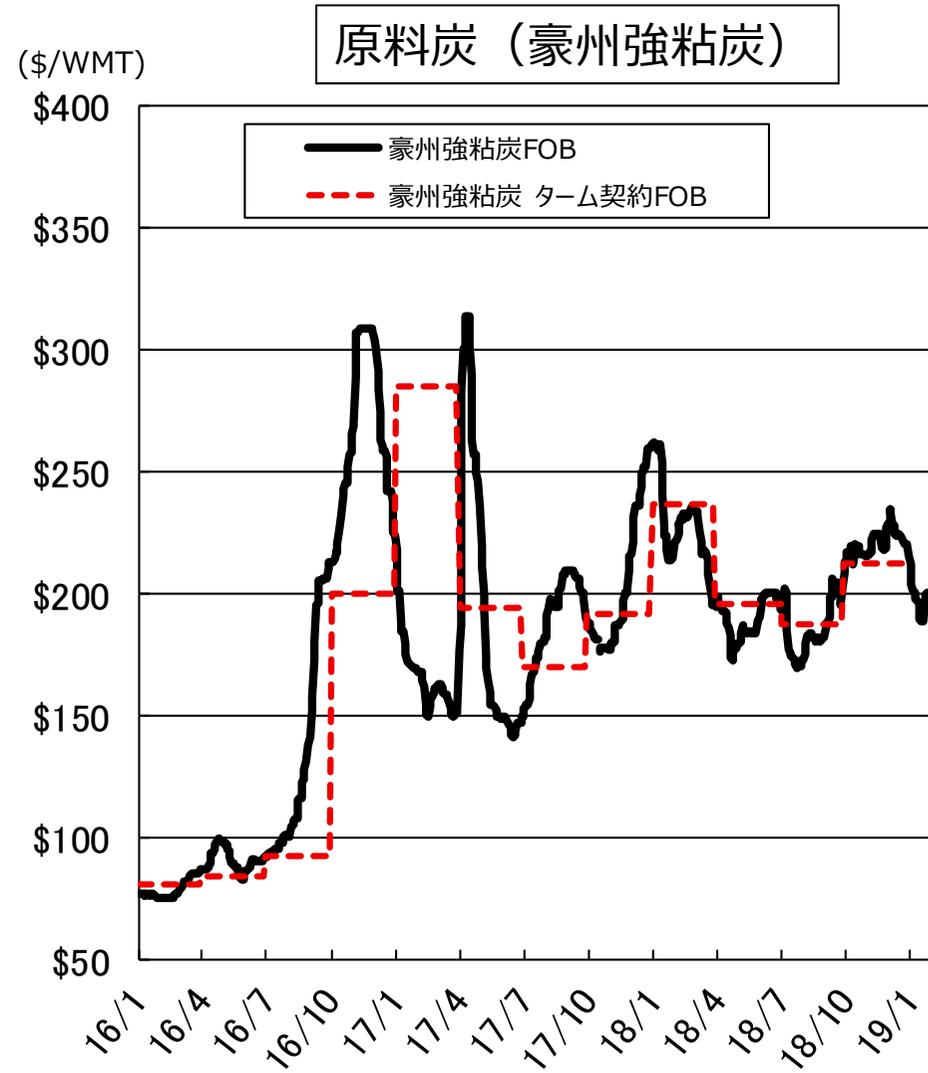
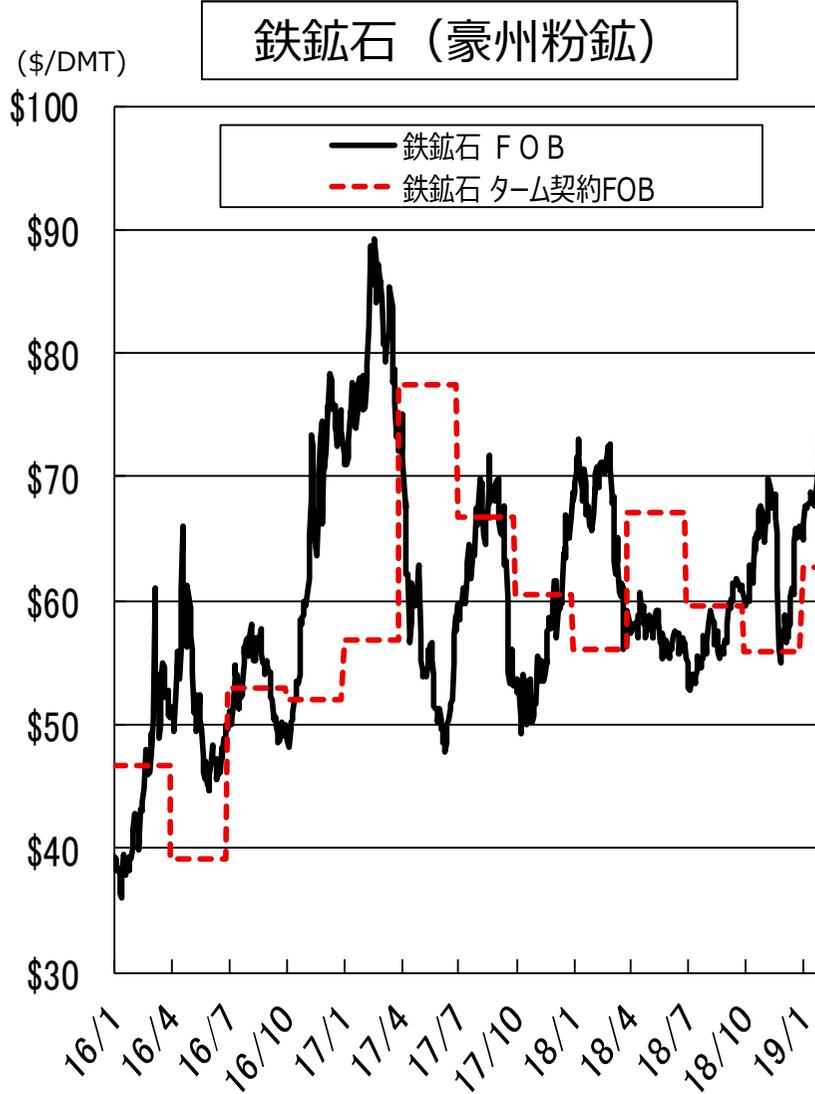


メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格：中国21都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース



# 原料 主原料市況



原料炭の17年4-6月期以降ターム契約FOBは、インデックス平均を記載  
 (4-6月期：3-5月平均、7-9月期：6-8月平均、  
 10-12月期：9-11月平均、1-3月期：12-2月平均)



JFE

# JFEスチール 2018年度業績見通し

	単位	2018年度 年間 (前回) 見通し	2018年度					2018年度 年間 (今回) 見通し	年度 差異 前回→今回
			上期 実績	下期 見通し		年間 見通し			
				10-12月 実績	1-3月 見通し				
売上高	億円	28,800	13,866	7,396	7,038	14,434	28,300	▲500	
経常利益	億円	1,900	1,141	428	30	459	1,600	▲300	

単独粗鋼生産量	万 t	2,800程度	1,404	639	657程度	1,296程度	2,700程度	▲100
鋼材平均単価 (単独)	千円/ t		80.6	82.9	80	81	81	
為替レート	円/ドル	110程度	109.5	113.4	110	112	111	

単独粗鋼生産量▲100万トン（操業トラブル影響）の内訳

- ・倉敷地区 第2 高炉 ▲30万トン（年度累計 ▲70万トン）
- ・千葉地区 第6 高炉 ▲40万トン ※復旧済み
- ・福山地区 第4 高炉 ▲30万トン



JFE

# 2018年度 前回⇒今回 連結経常利益 ▲300億円内訳

JFEスチール	2018年度 前回	2018年度 今回	(億円) 年度差異
経常利益	1,900	1,600	▲300
単独粗鋼生産量 (万トン)	2,800程度	2,700程度	▲100

2018年度 自然災害・操業トラブル影響 (累計)  
粗鋼生産減▲200万トン (2,900→2,700万トン)

- **コスト** ▲ 150
- **数量・構成** ▲ 200
- **販価・原料** ▲ 100
- **棚卸資産評価差等** + 160
- **その他** ▲ 10

コスト	▲200	} ▲600
数量・構成	▲400	

棚卸資産評価差	+130 (+200→+330)
原料キャリーオーバー影響	+30 (▲60→▲30)
為替換算差	±0 (+30→+30)

**合計** ▲ 300



JFE

# 2018年度 連結経常利益 対前年度 ▲388億円内訳

JFEスチール	2017年度 実績	2018年度 見通し	(億円) 年度差異
経常利益	1,988	1,600	▲388
単独粗鋼生産量 (万トン)	2,846	2,700程度	▲146

■ <b>コスト</b>	± 0	⇒	コスト削減+200、操業トラブルによる一過性影響▲200
■ <b>数量・構成</b>	▲ 300		
■ <b>販価・原料</b>	+ 720		
■ <b>金属・資材他</b>	▲ 550		
■ <b>基盤整備費用</b>	▲ 300		
■ <b>棚卸資産評価差等</b>	+ 60	⇒	棚卸資産評価差 +60 (+270→+330) 原料キャリーオーバー影響 ▲70 (+40→▲30) 為替換算差 +70 (▲40→+30)
■ <b>その他</b>	▲ 18		
<b>合計</b>	<b>▲ 388</b>		

# JFEエンジニアリング 2018年度 業績見通し



JFE

# JFEエンジニアリング 2018年度業績見通し

(億円)

	18年度見通し (前回)		18年度見通し (今回)		増減 (対前回)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間
受注高	2,282	5,000	2,282	5,000	±0	±0
売上高	2,872	4,800	2,872	4,800	±0	±0
経常利益	151	220	151	220	±0	±0



JFE

# JFEエンジニアリング 2018年度業績見通し

JFEエンジニアリング

(億円)

	17年度実績		18年度見通し		増減 (対前年度)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間
受注高	2,733	4,955	2,282	5,000	▲451	+45
売上高	2,310	3,913	2,872	4,800	+562	+887
経常利益	168	193	151	220	▲17	+27

## 【主な増減要因】

(年間)

- ・売上高 +887 前年度受注高拡大により増加
- ・経常利益 +27 売上高増加等により増加



# JFEエンジニアリング 受注内容

JFE

(億円)

分野	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減	2018年度 主な受注内容 ★…第3四半期 新規・追加受注案件
環境	2,342	2,100	▲242	廃棄物処理施設 新設[鳥取、島根] 廃棄物処理施設 基幹改良工事[宮城] 最終処分場浸出水処理設備[鳥取] 災害廃棄物減容化处理 ★下水処理場新設工事[ベトナム国ハノイ市]
エネルギー	1,269	1,300	+31	LNG基地建設工事 ★パイプライン（南部幹線 I 期 [知多～半田]）
社会 インフラ他	1,344	1,600	+256	橋梁新設工事（春田 3 高架橋[名古屋]、出島架橋[宮城]、 ★城陽西高架橋[京都]） 橋梁改築工事（首都高速、渋谷駅西口歩道橋） ★橋梁緊急補修工事（大島大橋[山口]） コンテナクレーン [静岡、高知] ★木質バイオマス搬送・貯蔵設備設置工事（新小野田[山口]） スマートアグリプラント [栃木]
合計	4,955	5,000	+45	

# JFE商事 2018年度 業績見通し



# J F E 商事 2018年度業績見通し

(億円)

	18年度見通し (前回)		18年度見通し (今回)		増減 (対前回)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間
売上高	11,018	21,200	10,318	20,500	▲700	▲700
経常利益	159	350	159	350	±0	±0

## 【主な増減要因】 (年間)

- ・売上高 ▲700 J F E スチールの粗鋼生産減に伴う販売数量の減少
- ・経常利益 ±0 販売数量減影響はあるも、主に北米グループ会社を中心とした収益拡大等もあり、前回見通し通り



# J F E 商事 2018年度業績見通し

JFE

(億円)

	17年度実績		18年度見通し		増減 (対前年度)	
	下期	年間	下期	年間	下期	年間
売上高	9,917	19,079	10,318	20,500	+401	+1,421
経常利益	168	330	159	350	▲9	+20

## 【経常利益の主な増減要因（年間）】

- ・主に海外グループ会社の収益拡大に加え、販売価格の改善により増益



JFE

JFE商事

## (参考) JFE商事 セグメント別売上高見通し

(億円)

		2017年度 実績		2018年度 見通し		増減	
国内		9,669		10,500		+831	
海外	輸出	4,617	7,793	4,800	8,200	+183	+407
	海外事業	3,176		3,400		+224	
その他（原材料・資機材・調整額他）		1,617		1,800		+183	
合計		19,079		20,500		+1,421	

# JFEホールディングス 2018年度 業績見通し



# 2018年度 業績見通し

JFE

JFEホールディングス

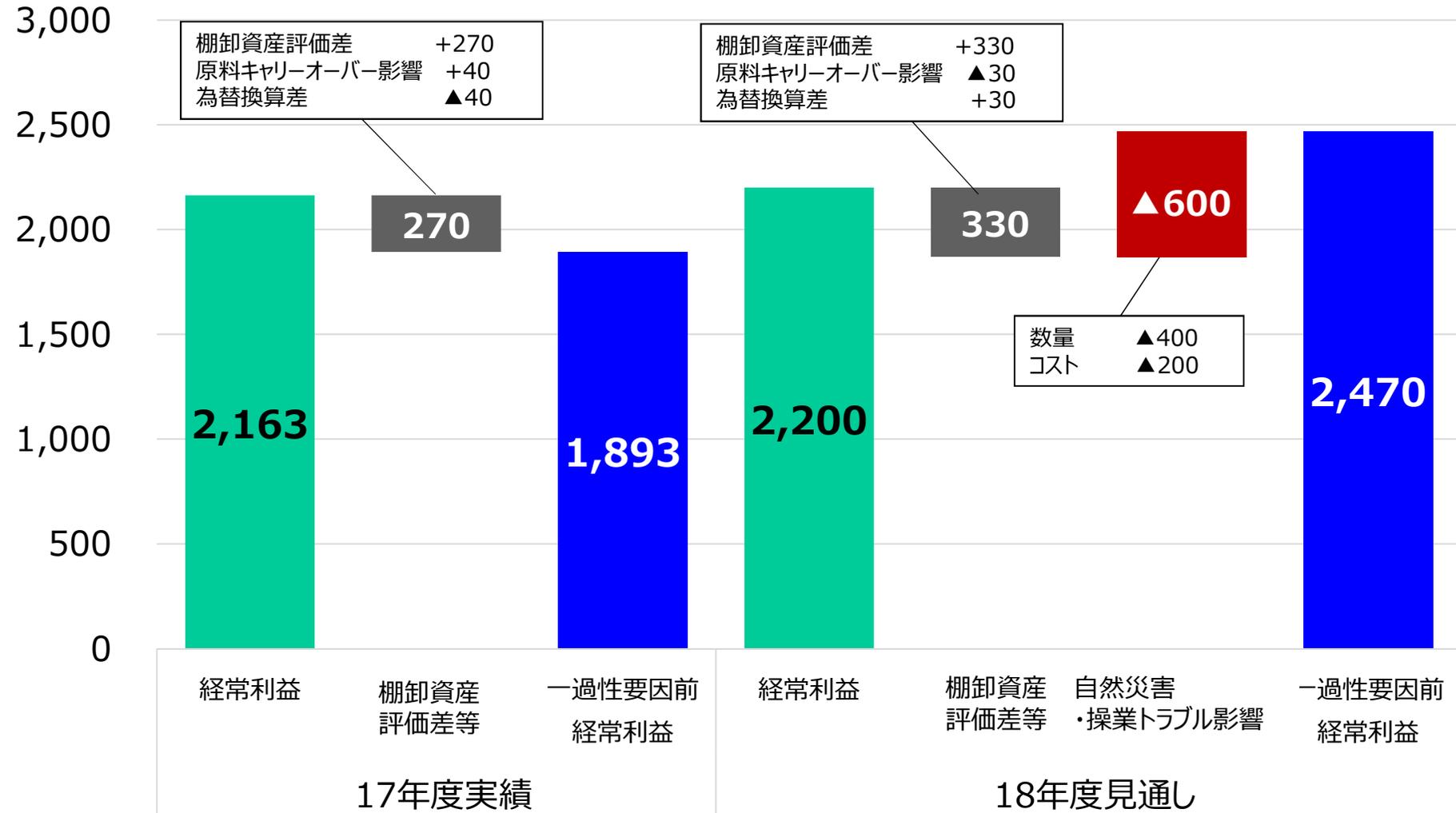
	対前年度					(億円)
	2017年度 実績		2018年度見通し			増減
	年間		4-12月	1-3月	年間	年間
売上高	36,786		29,391	9,609	39,000	+2,214
営業利益	2,466		1,708	192	1,900	▲566
営業外損益	▲303		304	▲3	300	+603
経常利益	2,163		2,012	188	2,200	+37
特別損益	▲29		▲57	▲43	▲100	▲71
税前利益	2,133		1,954	146	2,100	▲33
税・非支配株主損益	▲687		▲443	▲57	▲500	+187
親会社株主帰属 当期純利益	1,446		1,510	91	1,600	+154



JFE

# 一過性要因前経常利益（JFEホールディングス連結）

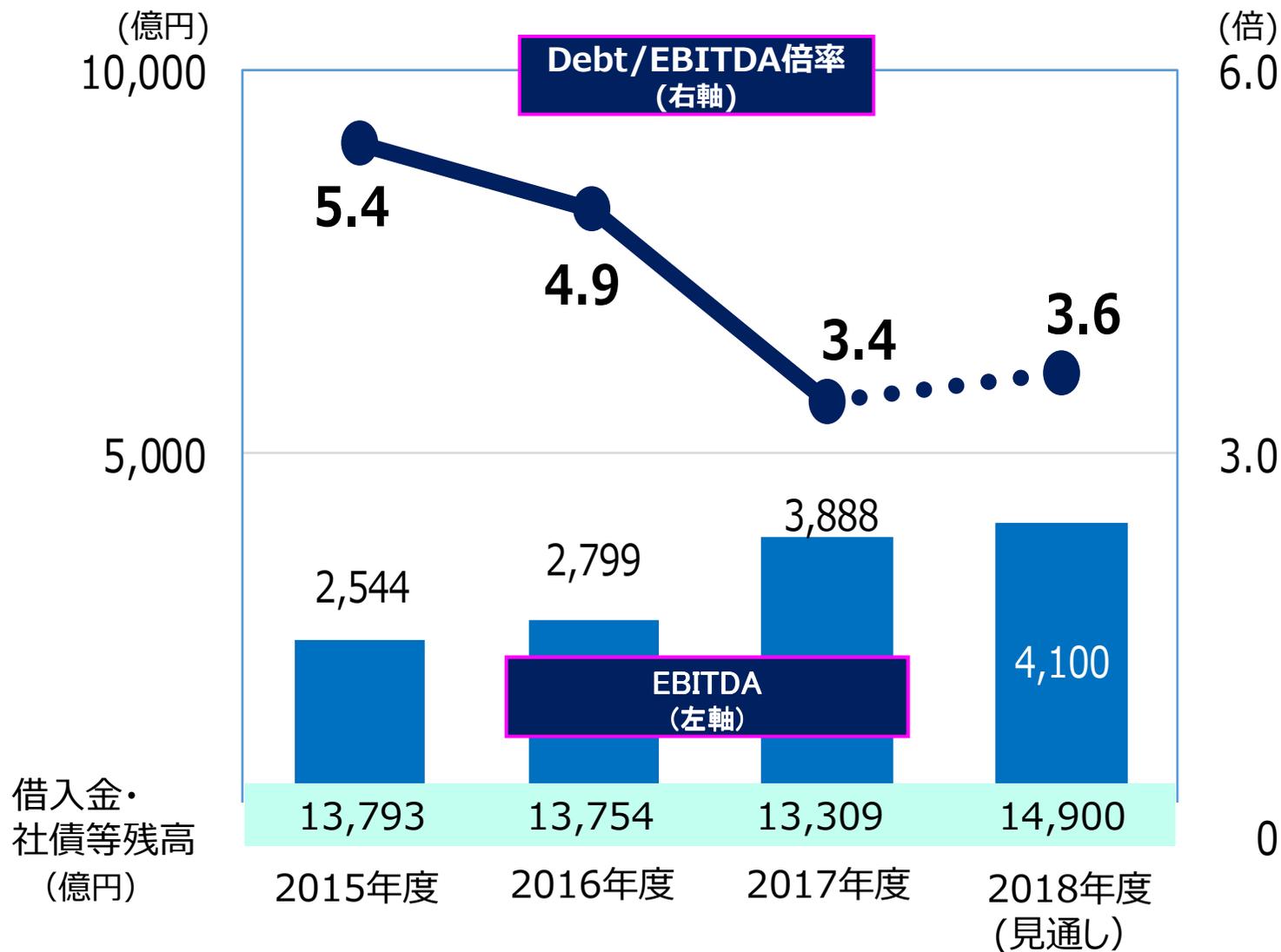
(億円)





JFE

# Debt/EBITDA倍率の推移



■ EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

■ Debt/EBITDA倍率 = 借入金・社債等残高/EBITDA



JFE

## キャッシュフローの状況

### 2018年度連結キャッシュフロー（見通し） （億円）

原資		用途	
当期純利益	1,600	配当金支払	550
減価償却費	1,800	設備投資 ・ 投融資	3,100
借入金	1,600	運転収支他	1,350

# 配当について



## 配当について

- 当期の期末配当につきましては、1株につき50円（年間95円）とする案を株主総会にお諮りする方針といたしました。

# IFRSの任意適用について



## IFRSの任意適用について

JFE

- 当社は、グローバルに事業を展開していく中で資本市場における財務諸表の国際的な比較可能性の向上や会計処理の標準化によるグループ経営管理の向上等を目的とし、2019年3月期の期末決算より、当社の連結財務諸表および連結計算書類について、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することを取締役会にて決議いたしました。
- IFRS任意適用に向けた開示予定

決算期		開示資料	適用会計基準
2019年3月期	第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期決算短信</li> <li>・四半期報告書</li> </ul>	日本基準
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算短信</li> <li>・連結計算書類</li> <li>・有価証券報告書</li> </ul>	IFRS



JFE

# JFEホールディングス18年度連結業績見通し(2/1公表前提) 対比表

(単位:億円)

日本基準	
売上高	39,000
営業利益	1,900
営業外損益	300
<b>経常利益</b>	<b>2,200</b>
鉄鋼事業	1,600
エンジニアリング事業	220
商社事業	350
調整額	30
特別損益	▲100
税金等調整前当期純利益	2,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600



IFRS	
売上収益	38,000
<b>事業利益 A</b>	<b>2,330</b>
金融損益 B	▲130
<b>セグメント利益 A+B</b>	<b>2,200</b>
鉄鋼事業	1,600
エンジニアリング事業	220
商社事業	350
調整額	30
個別開示項目	▲100
税引前利益	2,100
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,600

- **事業利益** : 税引前利益から金融損益および個別開示項目を除いたもの
- **セグメント利益** : 事業利益に金融損益を加えたもの
- **個別開示項目** : 金額に重要性のある一過性の性格を持つもの

# 參考資料



# 主な財務関連データ

JFE

【日本基準】

(見通し)

年度	'03	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18
<b>【主要財務指標】(億円、%、倍)</b>													
経常利益	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	2,310	642	847	2,163	2,200
EBITDA ※1	4,323	7,414	6,708	3,371	4,289	3,063	2,606	3,689	4,215	2,544	2,799	3,888	4,100
ROS ※2	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	6.0%	1.9%	2.6%	5.9%	5.6%
ROE ※3	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	7.7%	1.8%	3.7%	7.6%	8.1%
ROA ※4	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	5.5%	1.7%	2.3%	5.2%	5.1%
借入金・社債等残高(期末) ※5	18,374	12,819	17,687	14,684	14,964	15,936	15,963	15,340	15,017	13,793	13,754	13,309	14,900
Debt/EBITDA倍率	4.3倍	1.7倍	2.6倍	4.4倍	3.5倍	5.2倍	6.1倍	4.2倍	3.6倍	5.4倍	4.9倍	3.4倍	3.6倍
D/Eレシオ ※6	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	59.0%	56.9%	51.4%	58.1%	63.9%
<b>【1株当たり情報】(円/株、%)</b>													
親会社株主に帰属する当期純利益	185.8	450.5	355.6	86.3	110.7	-68.7	71.2	177.4	241.6	58.4	117.8	250.8	277.7
配当金	30	120	90	20	35	20	20	40	60	30	30	80	95
配当性向	16.1%	26.6%	25.3%	23.2%	31.6%	-	28.1%	22.5%	24.8%	51.4%	25.5%	31.9%	34.2%

※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

※2 ROS: 経常利益/売上高

※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産

※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本 但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債※について、格付機関の評価により資本に算入。

※資本性を併せ持つ負債(劣後特約付きローン)

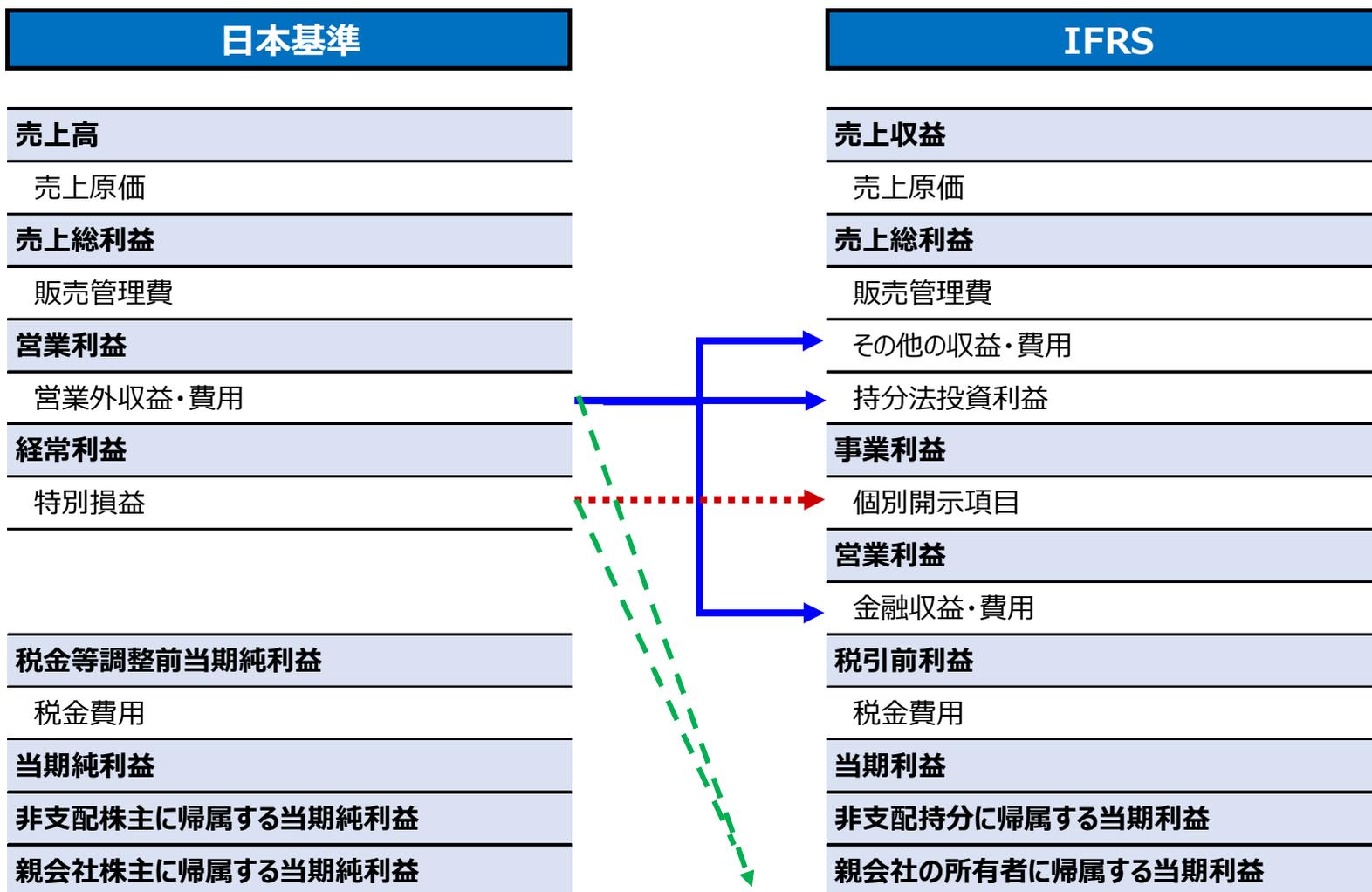
借入実行日	借入金額	資本性評価	資本算入額
	(億円)	(%)	(億円)
2016年6月30日	2,000	25%	500
2018年3月19日	3,000	25%	750



JFE

# IFRSの任意適用について

(参考) 日本基準・IFRS 段階損益





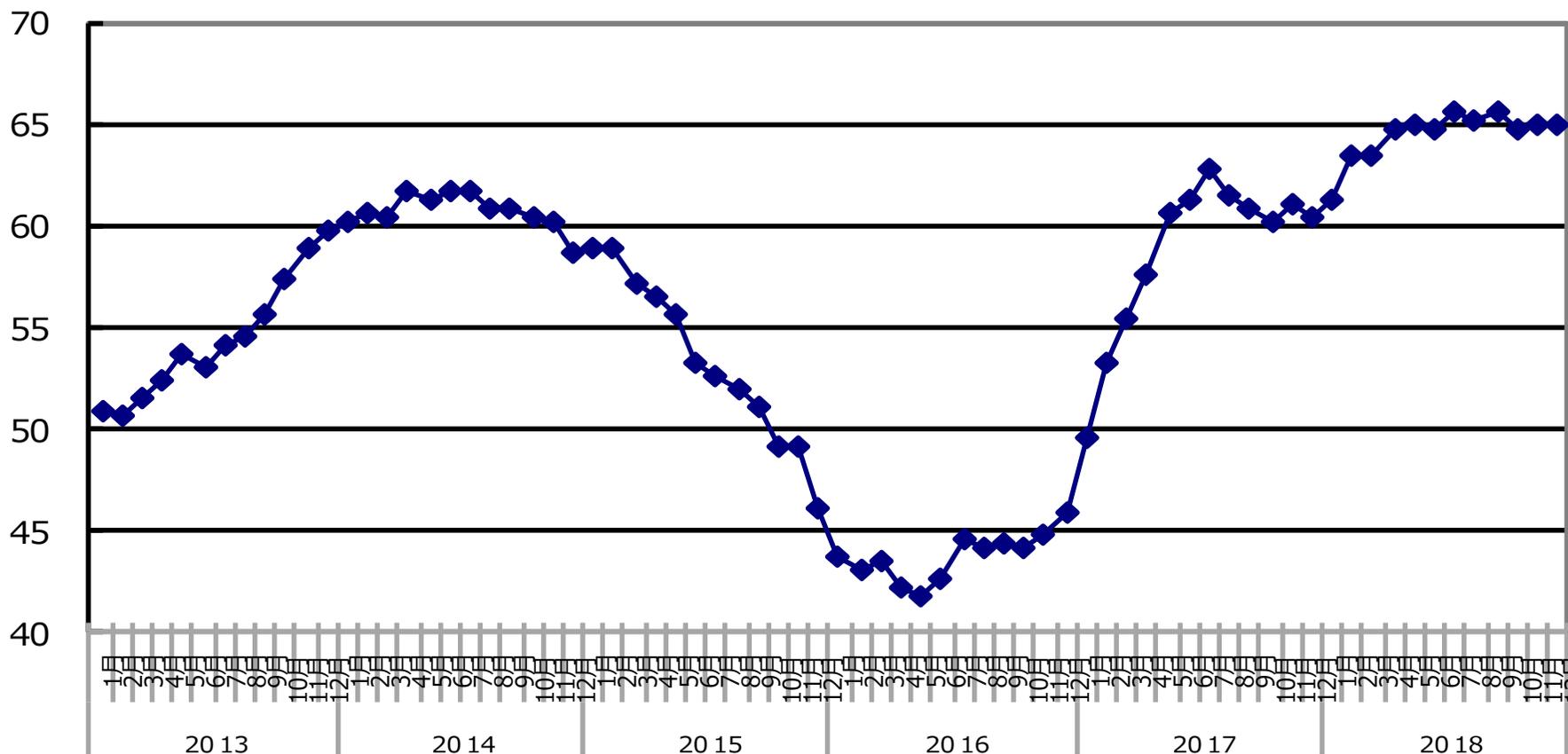
JFE

# 国内販売環境

# 輸入鋼材価格

JFEスチール

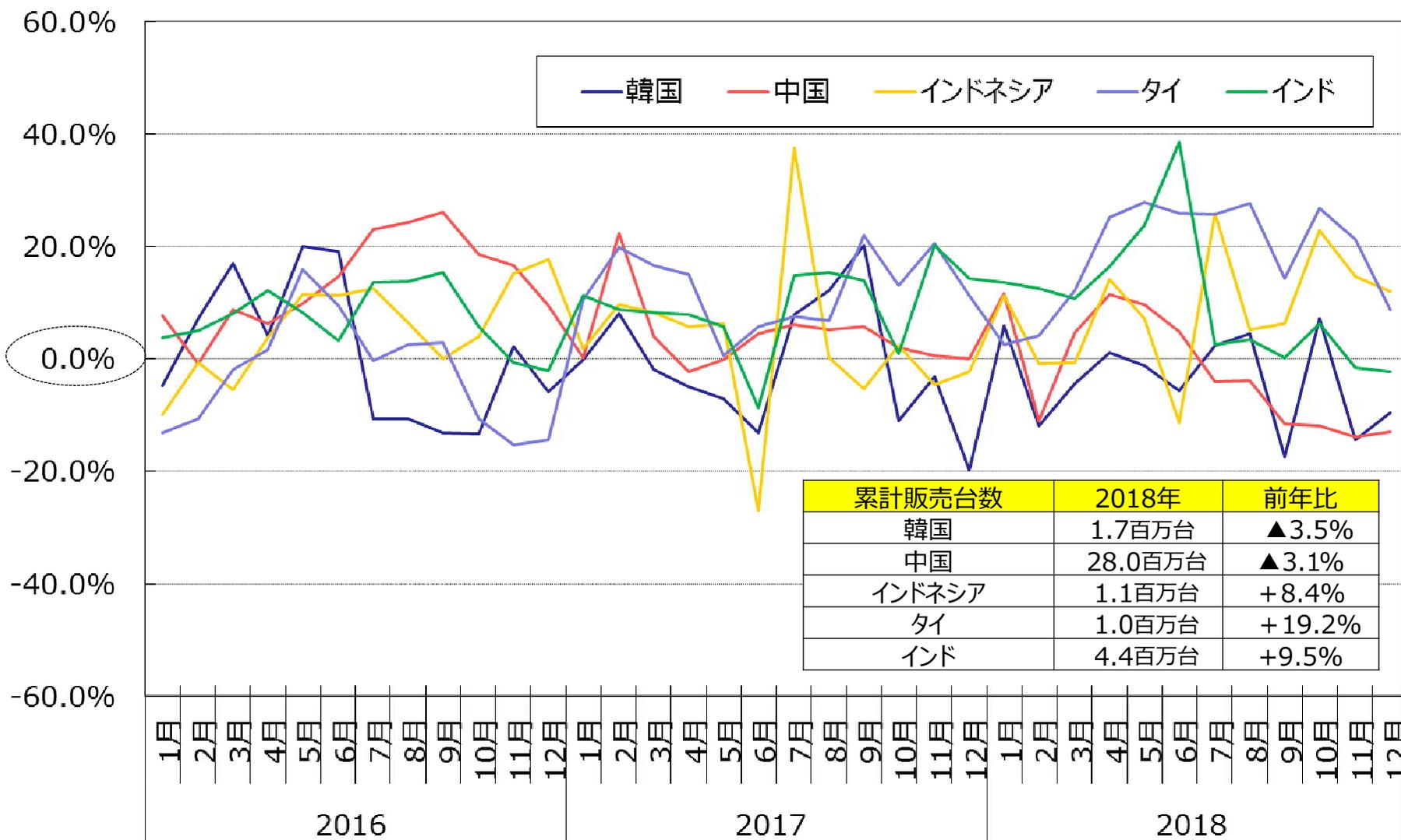
(千円/ t)



日本鉄鋼連盟データより作成 (韓国から輸入の熱延広幅帯鋼)



(対前年同月比)





原料

# 金属市況推移

JFEスチール

JFE

(¢/lb) フェロクロム



(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン

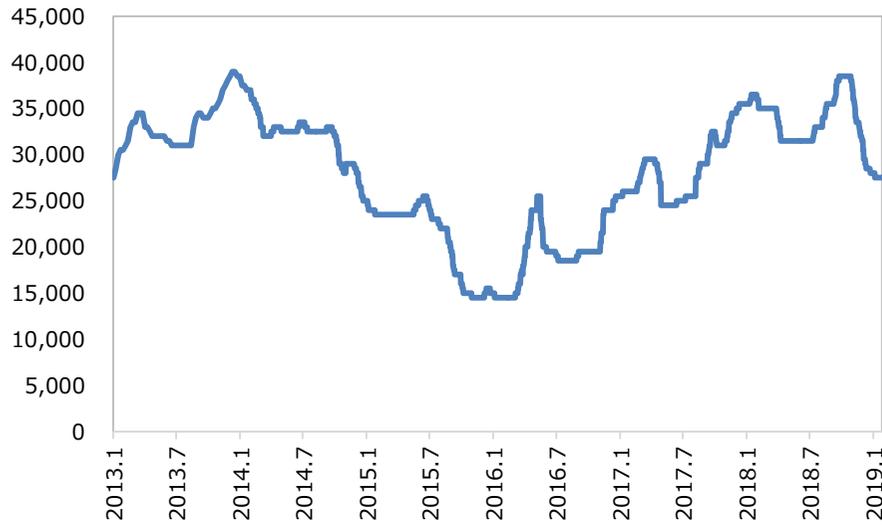


(US\$/lb) モリブデン

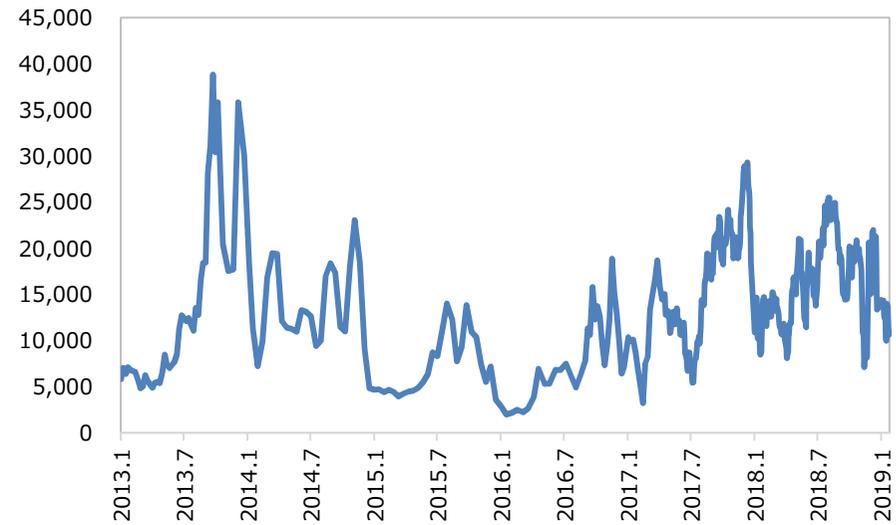




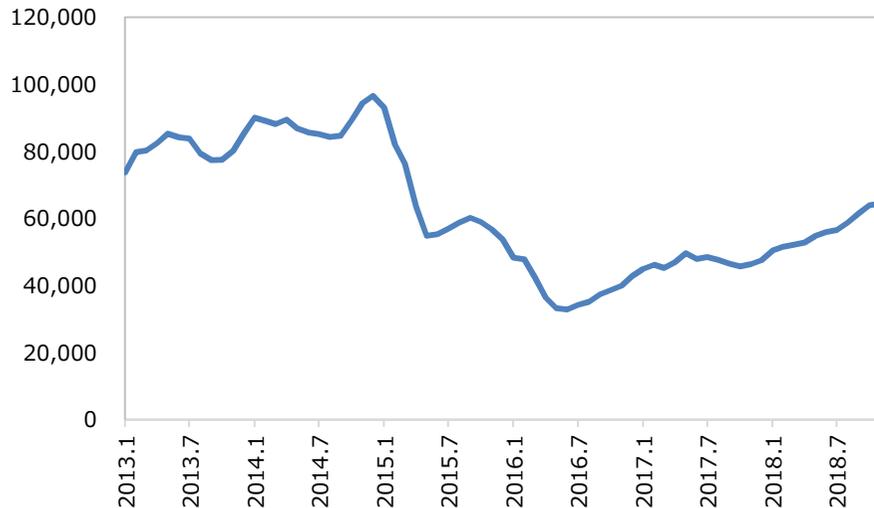
### (円/t) スクラップ市況



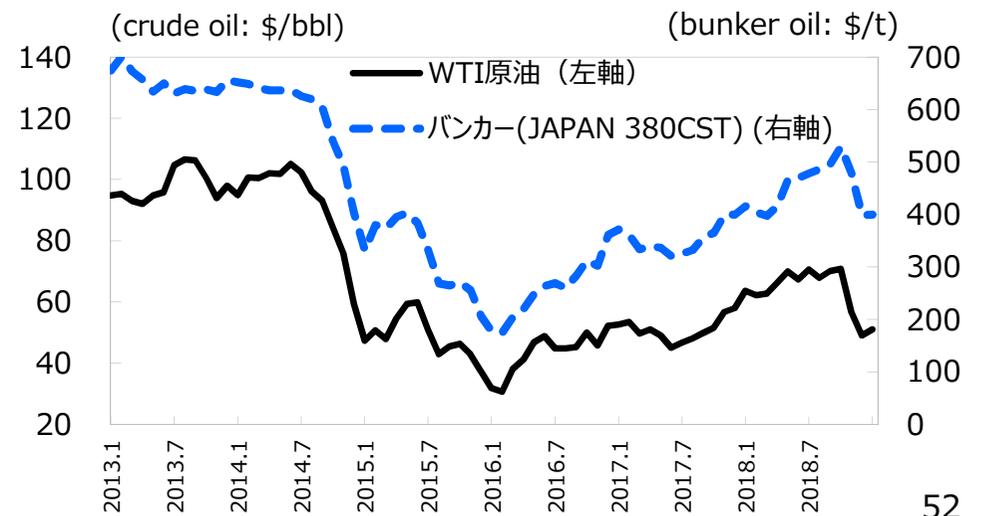
### (\$/B) スポット備船市況



### (円/t) LNG市況



### 原油・バンカー市況





# 為替レート推移（日本円/米ドル、人民元/米ドル）

JFE

(円/米ドル)

(人民元/米ドル)





JFE

(参考) 2018年度7-9月

⇒2018年度10-12月 連結経常利益 ▲69億円内訳

JFEスチール

(億円)

JFEスチール	2018年度					差異 7-9月 →10-12月
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年度	
経常利益	644	497	428	30	1,600	▲69

- コスト ▲ 35
- 数量・構成 ▲ 45
- 販価・原料 ▲ 80
- 棚卸資産評価差等 + 60
- その他 + 31



棚卸資産評価差 +20 (+90→+110)  
 原料キャリーオーバー影響 +60 (▲40→+20)  
 為替換算差 ▲20 (+20→±0)

**合計 ▲ 69**



JFE

# (参考) 2018年度上期⇒下期連結経常利益 ▲682億円内訳

(億円)

JFEスチール	2018年度			差異 2018上→下
	上期	下期	年度	
経常利益	1,141	459	1,600	▲682

- **コスト** ▲ 100 ⇒ コスト削減+40、操業トラブルによる一過性影響▲140
  - **数量・構成** ▲ 140
  - **販価・原料** ▲ 200
  - **棚卸資産評価差等** + 10 ⇒ 棚卸資産評価差 ▲70 (+200→+130)  
原料キャリーオーバー影響 +150 (▲90→+60)  
為替換算差 ▲70 (+50→▲20)
  - **その他** ▲ 252 ⇒ 償却費・廃却損増、資材・燃料価格上昇、  
受取配当金の季節差 等
- 
- 合計** ▲ 682



JFE

(参考) 2018年度10-12月

⇒2018年度1-3月 経常利益 ▲398億円内訳

JFEスチール

(億円)

JFEスチール	2018年度					差異 10-12月 →1-3月
	上期	下期		年度		
		10-12月	1-3月			
経常利益	1,141	428	30	459	1,600	▲398

■ 数量・構成 + 20

■ 販価・原料 ▲ 200

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 90

■ その他 ▲ 128

⇒ 棚卸資産評価差 ▲90 (+110→+20)  
 原料キャリーオーバー影響 +20 (+20→+40)  
 為替換算差 ▲20 (±0→▲20)

⇒ 償却費増、廃却損増 等

合計 ▲ 398



(トピックス)自動車用鋼板のさらなる競争力向上に向けた商品開発①  
～高潤滑自動車用GI鋼板『GI JAZ®』を開発～

JFE

(2018年11月15日公表)

**表面処理** 高潤滑自動車用GI鋼板『GI JAZ®』を開発

欧米自動車メーカー向けにプレス成形性を飛躍的に向上させた高潤滑自動車用溶融亜鉛めっき(GI)鋼板を開発。車両構造・デザインの自由度拡大、プレス加工不良の削減・工程安定化に寄与。

【今回の開発における特徴】

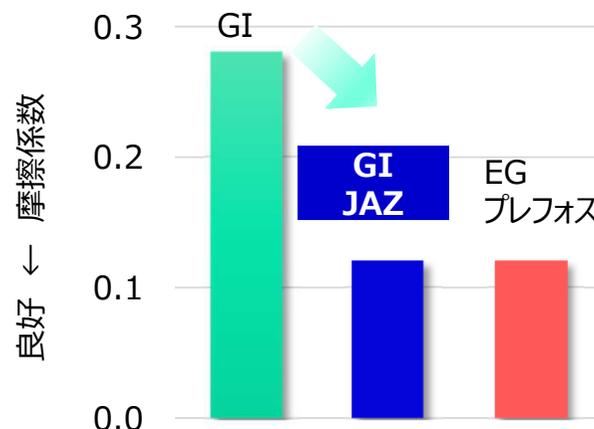
- 高潤滑合金化溶融亜鉛めっき(GA)鋼板『JAZ®』で培った潤滑性向上技術をGIめっき鋼板に応用。
- 欧米系メーカーで使用される電気亜鉛めっき鋼板(EGプレフォス)と同等の成形性を、製造コストの低いGI鋼板をベースに実現。

一般GI鋼板比で

◎ プレス時の摩擦係数【約6割低減】

◎ 成形可能範囲【約2倍に拡大】※

※良好にプレス成形ができるしわ押さえ荷重の範囲  
(自動車フェンダー部品のプレス成形試験において)



『GI JAZ』を使用したフェンダーモデル金型によるプレス成形部品



JFE

# (トピックス)自動車用鋼板のさらなる競争力向上に向けた商品開発② ～冷間成形用1310MPa級高張力鋼板が車体骨格部品に初採用～

(2019年1月10日公表)

## 超ハイテン 冷間成形用1310MPa級高張力鋼板が車体骨格部品に初採用

冷間プレスによる車体骨格部品として世界初採用、世界最高レベルの強度。衝突安全性と車体軽量化のさらなる向上へ。

### 【今回の開発における特徴】

- プレス成形性や部品の寸法精度などの技術課題の解決により、バンパー部品から車体骨格部品へ適用を拡大。
- 福山地区独自のウォーター・クエンチ（水焼入れ）方式連続焼鈍プロセスの高い冷却能力を活用し、合金の添加を極限まで低減して、優れた耐遅れ破壊特性※1や強度の安定化を実現。

※ 遅れ破壊：水素に起因するプレス成形後の静的な脆性割れ

◎冷間プレスによる車体骨格部品として **世界最高レベルの強度**

**【従来 1180MPa→ 今回採用 1310MPa】**

衝突安全性と車体軽量化による **安全で環境に優しい自動車の開発に貢献**



車体骨格イメージ



**JFE**

Copyright © 2019 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい